

平成29年上半期のニセ電話詐欺認知状況等について

1 ニセ電話詐欺の認知状況

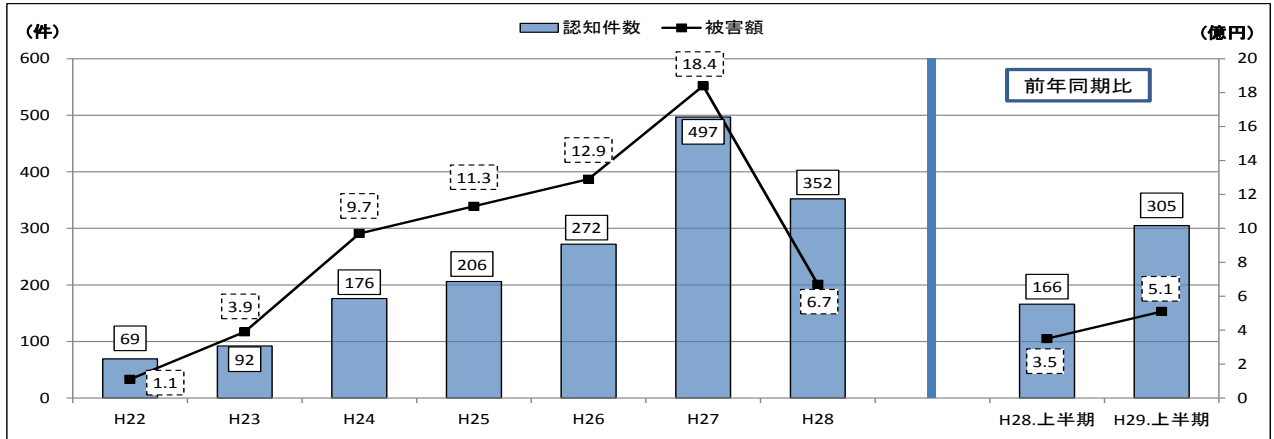
(1) 上半期におけるニセ電話詐欺の認知状況

○ 認知件数、被害額

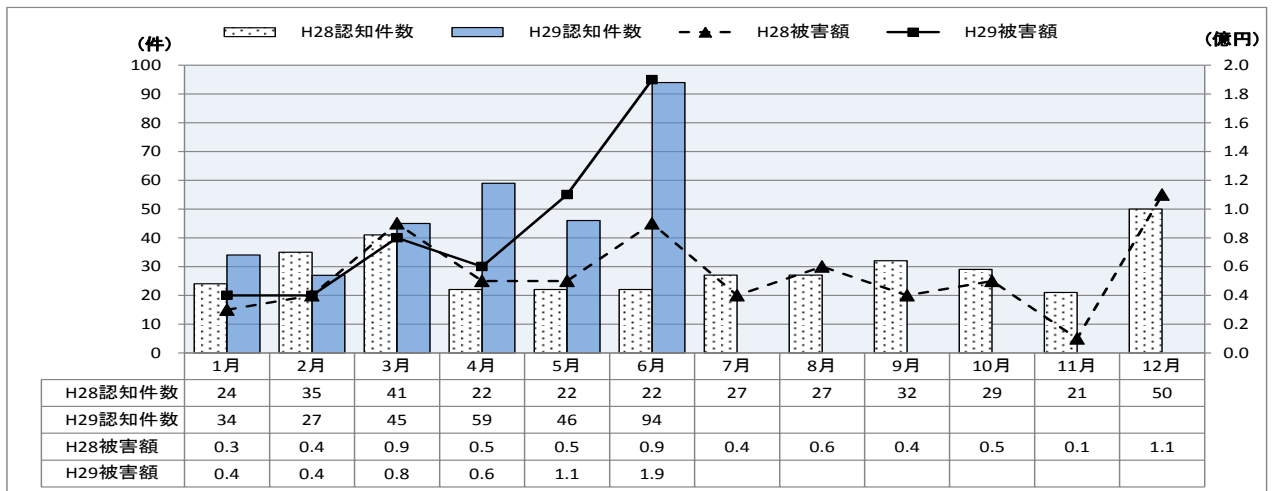
認知件数 305件 (前年同期比+139件、84%増加)

被害額 5億761万円 (前年同期比+1億5,328万円、43%増加)

【認知件数、被害額の年別推移】



【認知件数、被害額の月別推移】



2 類型別の認知状況について

【振り込め詐欺】

	福岡						
	H29年		H28年		増減		
	1~6月	1~6月	件・円	比率			
オレオレ	件数	56件	18件	+38件	+211%		
	被害	1億8409万円	4700万円	+1億3709万円	+292%		
架空請求	件数	116件	64件	+52件	+81%		
	被害	1億1585万円	2億2373万円	-1億0788万円	-48%		
融資保証	件数	12件	10件	+2件	+20%		
	被害	978万円	1014万円	-35万円	-3%		
還付金等	件数	118件	70件	+48件	+69%		
	被害	1億2926万円	6055万円	+6871万円	+113%		
総計	件数	302件	162件	+140件	+86%		
	被害	4億3898万円	3億4141万円	+9757万円	+29%		

【振り込め詐欺以外のニセ電話詐欺】

	福岡						
	H29年		H28年		増減		
	1~6月	1~6月	件・円	比率			
金融商品	件数	1件	3件	-2件	-67%		
	被害	4340万円	982万円	+3358万円	+342%		
ギャンブル	件数	2件	1件	+1件	+100%		
	被害	2523万円	309万円	+2214万円	+717%		
交際あつせん	件数	0件	0件	±0件	-		
	被害	0万円	0万円	±0万円	-		
その他	件数	0件	0件	±0件	-		
	被害	0万円	0万円	±0万円	-		
総計	件数	3件	4件	-1件	-25%		
	被害	6863万円	1291万円	+5572万円	+432%		

(1) オレオレ詐欺

- 認知件数、被害額

認知件数 56件（前年同期比+38件、211%増）

被害額 1億8,409万円（前年同期比+1億3,709万円、292%増）

- 手口例

【息子かたり～鞆盗難～】

被害者方に息子をかたる男から電話があり、「駅で財布や携帯が入った鞆を盗まれた。」「財布が見つかったけど、お金が無くなっていた。」「銀行のカードを止めているから、自分ではお金を出せない。」「今日、どうしても200万円が必要だ。」「代わりに保険会社の人を受け取りに行くから。」などと言われ、これを信じた被害者が、自宅近くの路上で、受け取りに現れた男に現金200万円を手渡し、だまし取られたもの。

【警察官かたり】

被害者方に警察官のワタナベをかたる男から電話があり、「金融機関の中に悪い職員がいる。」「お金を横領するかもしれないから、全額下ろした方がいい。」「銀行から引き出したお金の中に偽札が入っている可能性があるので、あなたの家に警察官を向かわせる。」「お金は一旦預かって1時間後には返す。」などと言われ、これを信じた被害者が、自宅に現金を受け取りに現れた警察官のスズキを名乗る男に現金180万円と通帳1冊を手渡し、だまし取られたもの。

(2) 架空請求詐欺

- 認知件数、被害額

認知件数 116件（前年同期比+52件、81%増）

被害額 1億1,585万円（前年同期比-1億788万円、48%減）

- 手口例

【有料サイト利用料金等名目】

被害者の携帯電話に「有料動画の未納料金が発生しています。本日中に連絡なければ、法的手続きに移行します。」という内容のメールが届いたため、メールに記載された電話番号に架電したところ、受付センターのクドウと名乗る男から「39万8000円未払いになっています。支払いをしなければ、裁判になります。半分の20万円を支払えば、救済措置が受けられます。支払いは電子マネーカードを買ってください。」等と言われ、コンビニエンスストアで電子マネーカード20万円分を購入して、相手にカード番号を伝え、電子マネー利用権をだまし取られたもの。

(3) 融資保証金詐欺

- 認知件数、被害額

認知件数 12件（前年同期比+2件、20%増）

被害額 978万円（前年同期比-35万円、3%減）

- 主な手口

被害者が経営する会社事務所にFAX送信されてきた融資案内を見て、被害者が800万円の融資を申し込み、貸金業者の社員を名乗る男2名と電話やFAXでやり取りをしたところ、「融資実行に際しては、事務手数料が必要です。」「依頼人名に契約番号が入っていない。」「番号を間違えている。」「実行手数料が必要です。」「保証金が必要です。」などと言われ、これらの話を信じて、相手が指定する口座に複数回に亘って現金を振り込み、現金合計約500万円をだまし取られたもの。

(4) 還付金詐欺

- 認知件数、被害額

認知件数 118件（前年同期比+48件、69%増）

被害額 1億2,926万円（前年同期比+6,871万円、113%増）

- 主な手口例

被害者方に市役所の職員を名乗る男から電話があり、「保険料の払戻しがあります。」
「届出期間を過ぎたので銀行から電話させます。」等と言われ、さらに、銀行員を名乗る男から電話があり、「口座に保険料の払戻し金を振り込みます。」「スーパーにある新しいATMでしか手続きができません。」等と言われ、指示されたスーパーのATMに行くと、銀行員を名乗る男から携帯電話に電話があり、「振込の説明をしますので、言うとおりに操作してください。」等と言われ、指示通りにATMを操作したところ、3回にわたり、指定された3口座に現金合計約170万円を振り込み、だまし取られたもの。

3 被害者の男女別・年齢別の認知状況

(1) 男女別

	男性	女性	合計	男性・割合	女性・割合
認知件数	85	220	305	28%	72%
被害額	2億769万円	2億9992万円	5億761万円	41%	59%

- 特徴的傾向

認知件数、被害額ともに女性の割合が高い。

(2) 年齢別

- 年代別の被害者数

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	4	21	16	18	27	52	119	47	1	305

- 65歳以上の高齢者の割合

	65歳以上	64歳以下	合計	65歳以上割合	64歳以下割合
認知件数	196	109	305	64%	36%
被害額	4億705万円	1億56万円	5億761万円	80%	20%

- 特徴的傾向

認知件数、被害額ともに、65歳以上の高齢者の割合が高い。